

人工腎臓センター 多職種連携のためのカンファレンス

人工腎臓センターってなにをするところ？

泌尿器科医師、看護師、臨床工学技士が連携し、血液透析や血漿交換療法や腹水濾過濃縮再静注法などの様々な血液浄化療法を行っています。

血液透析って？

腎不全となった腎臓の代わりとなる治療のひとつです。血液をフィルター（人工腎臓）に通すことにより、余分な老廃物や水分を取り除き、血液のバランスを整える治療です。一般的に、1回3～5時間の治療を、週に3回行います。

当院の特色

血液透析に関しては、通院での外来透析は行っており、入院中の透析患者さんに対して、主治医と相談しながら、最適な透析を施行しております。



カンファレンスって？

患者さんに安心安全で最適な治療を決定するための、情報共有・話し合いをすることです。

透析カンファレンス



・毎月に1回開催。
主治医と泌尿器科医師、看護師、臨床工学技士で、入院中の患者さんの状態を共有し、最適な透析条件を決めています。
具体的には、退院・転院に向けた透析スケジュールや、治療方針、血液透析の条件などについての話し合いをしています。



ミニカンファレンス

・1日1～2回開催。
人工腎臓センターの看護師と臨床工学技士が、病棟からの「申し送り票」を見ながら、その日に血液透析等を行っている患者さんの状態や、透析条件などの情報を共有しています。

多職種カンファレンス

・月に1回開催。
人工腎臓センターの看護師と臨床工学技士で、センター内のルールやトラブルについての情報共有や協議をします。

当センターの看護師や臨床工学技士は他部門とのローテーションで勤務しているため、ルールの変更の周知など、情報共有が特に重要になっています。



臨時カンファレンス

・必要時に開催。
インシデント※やトラブルが起きてしまった際に、再発防止に向けて振り返りや、原因・対策について多職種で意見を出し合って話し合います。

最近では、起きてしまったインシデントの「なぜなぜ分析」※を行い、原因の解明や、個々のスタッフの安全への認識を再確認しました。

※インシデント：診察やケアにおいて、本来のあるべき姿から外れた事態や行為の発生を意味する。患者さんへの障害発生の有無は問わない。
※なぜなぜ分析：「1つの事柄になぜ？」を繰り返すことで、問題の原因を解明し、問題の解決に導く方法の一つです。

これからも患者さんの安心安全のために、しっかり連携していきます！